

東京都立大学附属高等学校同窓会

2018(平成30)年度下期「理事・監事・評議員会議」議事録

日時 2019年1月26日(日) 14時

場所 めぐろパーシモンホール1階「YAKUMO111」

出席 19名 欠席 24名

議案1 2018(平成30)年度上期事業報告(2018. 4. 1~2018. 9. 30)

以下の①~⑥について報告、了承された。

また、⑦すでに実施された下期のホームカミングデー、同窓会総会についても報告された。

① 会報の発行(2018年6月30日発行)

印刷部数 9,000部

発送部数 国内会員8,232部 特別会員(恩師)154部

海外在住会員99部

桜修館教職員・PTA・生徒に配布170部

桜修館同窓会役員へ配布30部

② 第70回記念祭の取り組み(2018年9月8日、9日)

B棟2階201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展。

(府立高校以来の年表、歴史的資料・写真展示、DVD 終日放映など)

9日(日)13時より合唱イベント「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌を歌おう」実施。

府立高校卒業生合唱イベント参加が年々減って、今回は2名のみとなった。

③ 第6回「八雲が丘賞」

受賞団体は「創作部」。9月10日(月)、記念祭閉祭式の会場で全校生徒を前に表彰式を行った。創作部は、小説や詩、歌などの文章とイラストの両方を創作するユニークな活動を行っている部で、記念祭における「こってこ展」は人気。

④ 八雲が丘学友会

5月26日(土) 第33回会合

桜修館同窓会の発足に伴い、PTA 役員を顧問とする「会則」の修正を行った。

会議後の懇親会で、桜修館新旧校長挨拶、PTA 役員交代の報告があった。

9月1日(土) 第34回会合

⑤ 会議

3月15日 拡大理事会・会報編集委員会

5月19日 2017年度会計監査

7月7日 2018年度上期「理事・監事・評議員会議」

9月7日 記念祭準備

⑥ 学生歌、記念祭歌、寮歌の継承、保存

二期会会員・佐藤文行氏(17期)の監修により、旧制府立高校時代の学生歌、寮

歌、記念祭歌、都立大附属高校時代の記念祭歌から主だった曲の伴奏譜を編曲・制作し、デジタル譜として保存する体制ができた。これをホームページにアップして、より広く歌えるようにしたいと考えている。

⑦ 下期の報告

第4回ホームカミングデー(12月2日)

定期総会(10月21日)

議案2 同窓会の財政状況

2018年度の収支は、経常収益2,381千円に対して、経常費用2,392千円。

収入はほぼ全額が受取会費、最大の支出は会報の制作・発送費である。

収支バランスは、若干の赤字ではあるが大きく改善された。

会費納入会員が1200名弱と増加したこと、ホームカミングデーの会場を桜修館校内としたことで会場費がかからなかったことが主な要因である。

今後さらに会費納入会員の増加を図り、同窓会の収支構造を安定させたい。

会費納入会員が1500名となれば受取会費が3,000千円となり、より充実した会活動ができることとなる。

議案3 今後の活動計画 (2018年度下期および2019年度)

以下の①～⑧について執行部から提起、提案し了承された。

また昨年秋の定期総会で提起された⑨についても鋭意具体化していくこととなった。

① 会報の発行

2019年6月30日発行予定。A4判12Pまたは16Pカラー。

印刷予定9,000部、配布対象＝会員・特別会員約8,700部、

桜修館関係160部、桜修館同窓会40部

3月中旬(3月15日(金)予定) 編集委員会

4月30日原稿締め切り、5月編集作業、6月組版、校正、印刷製本、発送

② 名簿の管理(2019年1月20日現在)と個人情報の扱いについて

会員総数 14,353名

住所判明者 8,366名 (海外在住96名、会報受け取り拒否47名を含む)

死亡 664名、住所不明 5,323名

特別会員(恩師) 296名

住所判明者 157名、死亡66名、住所不明73名

会員住所録の活用に関する「個人情報保護」に関しては、2018年10月の総会で承認の通り。

③ 第71回記念祭への参加、出展計画

前回同様 B 棟201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」出展

府立高校以来の3校の年表、資料・写真の展示、DVDの放映、

「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌」合唱イベントを継続して実施する。

都大附高時代の資料、写真の収集努力を強化し、展示拡大に努める。

④ 第7回「八雲が丘賞」

桜修館に団体または個人の推薦を依頼する。

これまでの受賞は文化部のみだったが、運動部への授賞も十分考慮する。

⑤ 第5回「八雲が丘ホームカミングデー」の実施

パーシモンホール・小ホールの確保が難しいことから、桜修館多目的ホールを主な会場として考える。懇親会の会場については更に研究する。

内容については、前4回の経験をもとに検討する。

ホームカミングデーの収支に関しては、準独立会計として考える。

⑥ 特別「八雲が丘ホームカミングデー」(10期～14期対象)の実施

一昨年11月29日の初回特別ホームカミングデーは、旧制府立高～都大附属高第9期を対象として行ったことから、次回は10期～14期が対象となるが、9期以前の期から再度対象としてほしいとの要望もあり考慮する。

10期～14期をまとめて開催するかどうかについては検討を要する。

⑦ 同窓生による講演会「ようこそ先輩(仮称)」の開催

講演会企画の第3弾を来年度前半には開催したい。PTA、桜修館同窓会との共同開催も視野に入れる。

⑧ 八雲が丘学友会の活動と桜修館同窓会との連携

学友会の定期会合はこれまで通り年4～5回の開催としたい。桜修館同窓会の参加で若年向けの新たな活動ができないか検討する。桜修館の現役自治会役員などとの交流も拡大する。

⑨ 総会からの懸案事項

旧制以来の歌の継承

都大附高時代の資料、写真の収集

同窓生による課外授業、講演の実施

八雲が丘文庫の再整備

社会貢献活動

⑩ 会議予定

1月26日(土) 2018年度下期「理事・監事・評議員会議」

3月15日(金) 拡大会報編集委員会

5月上旬 2018年度会計監査

7月6日(土) 2019年度上期「理事・監事・評議員会議」

9月初旬 記念祭準備、第71回記念祭

10月 第5回「八雲が丘ホームカミングデー」

11月 特別「八雲が丘ホームカミングデー」

以上